



《北海道遺産》

札幌苗穂地区の工場・記念館群
(札幌市)

北海道初の工業団地は今に続く「産業のまち」に

札幌市の創成川以東は、豊平川の伏流水や貨物輸送の利便性などによって明治期から「産業のまち」として栄え、今も福山醸造をはじめ、さまざまな工場や倉庫がひしめき、下町的な雰囲気を残している。苗穂駅近隣にある北海道鉄道技術館、サッポロビール博物館、酪農と乳の歴史館、千歳鶴酒ミュージアムは内容も充実し、北海道の産業史を知る上でも貴重な記念館群を形成している。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

INDEX

- 3~9 第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会、北海道印刷工業組合創立80周年記念事業が盛会に開催
- 10 令和3年新春経営者研修会のご案内
- 10 北海道印刷関連業協議会令和3年新年交礼会のご案内
- 12 第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会、北海道印刷工業組合創立80周年記念事業写真グラフ

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <http://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会 北海道印刷工業組合創立80周年記念事業 厳かに盛会に挙行される

第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会ならびに北海道印刷工業組合創立80周年記念事業が、11月6日、札幌市中央区の札幌パークホテルで、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、来賓、組合員、賛助会員、関連企業者約150人が参加して開催された。

同事業は、記念式典、記念講演、記念パーティの3部構成で挙行された。

記念式典



矢吹英俊 氏

記念式典は、14時30分から開催され、開会につづき、国歌演奏が行われ、昭和15年1月の組合設立以来、物故された組合員353人の冥福を祈り黙祷を捧げた後、矢吹英俊理事から印刷産業人綱領が朗読された。



岸 昌洋 氏

参加した来賓・組合員・賛助会員・関連企業者の紹介の後、岸昌洋理事長が、「新型コロナウイルスが未だ猛威を振っている最中での開催となった第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会ならびに北海道印刷

工業組合80周年記念式典に参集いただき感謝申し上げます。本来は本年5月に開催をする予定であったが、止むを得ない事情で延期したとは言え、今日この場で開催できることは本記念事業の準備と運営のため尽力いただいた多くの皆様に厚く感謝申し上げます。当組合は、昭和15年の設立以来、今年で80周年を迎えた。私たちの先人は、第2次世界大戦の困難な時期、戦後復興期、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなどさまざまな苦難の時代を一貫して協調と団結を図り、印刷産業の発展に努め、北海道の産業界において新しい時代のニーズに対応し得る基幹産業としての確



記念式典会場の模様

固たる地盤と地位を築いていただいた。これらは80年にわたる組合活動のなかであらゆる困難を克服し、次代を先取りし、前進を続けてきた多くの先達の苦勞と尽力があったからこそである。私は、22代目の理事長として、この先達の築かれた偉業と伝統を後世に引き継ぐことが責務であると自覚している。私が2年前に理事長を拝命した際に、あいさつのなかで自助・共助・公助の話をした。今はまさにこのコロナ禍のなか、そしてアフターコロナを見据え、自助を促進させるために組合が用意しているさまざまな事業を通して自社を変革し、そして自社単独では変えられないことを組合として共助することが求められている。そして何よりも苦境に喘いでいる人たち、とりわけ未来ある子供たちの将来を社会の先輩として、経済活動の推進役

として、リーダーシップを発揮することが求められている。私もこのことを肝に銘じて、次代へさらなる発展を託していく」と式辞を述べた。

次に、来賓を代表して4人から祝辞が述べられた。



佐藤正幸氏

佐藤正幸経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「北海道印刷工業組合は昭和15年1月の設立以来80年の長きにわたり業界が直面するさまざまな課題に果敢に取り組まれ、組合員の改善・発達や相互交

流のため積極的な活動を通じて、北海道内の印刷産業の発展に多大の貢献をされた。これも偏に岸理事長をはじめ歴代役職員ならびに組合員の皆さんの尽力の賜であり、その功績に対して深く敬意を表す。最近の印刷業界は、新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントの中止、広告需要の減少、さらには広告・書籍のデジタル化の進展といった大変厳しい状況が続いており、業界構造そのものが大きな転換点を迎えている。印刷業は出荷額・事業者数・従業員数ともに全製造業において上位にあり、地域に根ざした重要な産業の1つである。印刷産業を取り巻く環境変化に機敏に対応すべく、事業領域の拡大や新しい技術の開発に挑戦し、新たな価値を創造することは日本経済の底上げに大いに寄与するものである。北海道経済産業局としても、コロナ禍における資金繰支援をはじめ製造工程の自動化・少人化に向けたロボット、IoT、AIの導入など、デジタルトランスフォーメーションや生産性向上に向けた意欲ある取組に対してさまざまな施策を総動員して支援をしていく。私どもの施策を活用いただき印刷産業のさらなる発展、北海道経済発展のため尽力をいただくようお願いを申し上げます」と述べた。

山岡庸邦北海道経済部長は、「近年、ネットワーク化やデジタル化、少子高齢化などの影響を受け、印刷産業を取り巻く環境が大きく変化をしているなか、



山岡庸邦氏

北海道印刷工業組合の皆さんには新しい時代のニーズに対応する牽引役として大きな期待が寄せられている。本大会は創立80周年の節目となる記念事業と合わせて開催され、全道の組合員の皆さんが直面される課題や経営基盤の安定化について意見交換を行われると伺っている。この記念すべき大会を契機として皆さんが親睦と連携を深められることはもちろん印刷業の経営革新や技術向上につなげていただけることを期待している。今般の新型コロナウイルス感染症により住民生活や経済活動は大きな影響を受けている。道としても全道の組合員の皆さんをはじめとする事業者の皆さんの協力をいただきながら、感染症防止と社会経済活動の両立に向けて、北海道全体での感染リスクを低減させる新北海道スタイルの徹底や、企業が今後とも事業活動を持続的に展開していただけるよう、賃金や人材などのニーズに対応した資金の提供や取組を進めているので一層の力添えをお願いしたい」と述べた。



村山英彦氏

村山英彦札幌市経済観光局長は、「この80年を振り返ってみると1940年の札幌市の人口は約20万人ほどであったが、第11回冬季オリンピックの開催、政令指定都市への移行などを契機として、都市基盤の整備が進み、現在では人口200万人に迫る大都市に成長させていただいた。その間、印刷業は本市の製造業のなかでも上位に位置する製造品出荷額を記録し続けるなど、その活発な企業活動によって札幌市の発展を支えてきた。昨今のデジタル化、ペーパーレスの流れにより印刷需要は減少傾向にあると伺っているが、皆さんはより付加価値を付けた経営を目指し、講習会・研修会の開催や生産性向上に関する取組を積極的に行い、課題を乗り越えようとしていると伺い心から敬意を表す。札幌市においてもIoT導入といった生産性向上を

導入するための補助金をはじめ企業の皆さんの活動を下支えするさまざまな取組を行っているので気軽に相談いただくとともに活用いただければ幸いです。北海道そして札幌市経済が成長していくためには、80年の伝統ある組合活動によって、北海道の印刷業界をリードされてきた皆さんの活躍が不可欠である。今後も引き続きの尽力・協力をよろしくお願い申し上げます」と述べた。



滝澤光正 氏

滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長は、「このコロナ禍では日本はもとより世界の社会経済にリーマンショック時以上の深刻な状況を生み出している。今後も暫くは非接触や非密接社会が進行し、構造変化がさらに進むことが推測される。これまで私ども全印工連では規模適正化・知識集約化・経営戦略化・高付加価値化など4回にわたる構造改善事業を経て、社会の構造変化、環境変化に柔軟に対応し、発展してきた歴史があるが、今またこの激変する社会環境に柔軟に対応し未来への道を開くことができるか、この進化が問われている。言い方を変えれば、変化に強い産業を再確認するチャンスでもある。こうしたなか我々全印工連ではブランドスローガンとして『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』を掲げ、全国の組合員企業1社1社がHappiness Companyを目指すプロセスを発信しつづけて来ている。また1年間の議論を経てこのたび取りまとめた『令和版構造改善提言』という成長戦略提言の具現化を図る目的で、今年度、全印工連にデジタルトランスフォーメーション推進プロジェクトチームを新たに立ち上げ、IT技術を活用した組合員各社の収益の見える

化の促進と組合員同士の生産の連携と効率化、そして印刷産業全体としての生産性の向上を目指す事業に着手した。本事業は組合員同士がクラウド上で印刷の受発注を行えるネットワークシステム、プラットフォームを活用し、発注者、受注者双方ともに収益に寄与できるシステムの今年度中の構築を目指し、現在、鋭意準備を進めているところである。北海道印刷工業組合の皆さんはこの創立80周年を契機に組合員が協調と団結力をさらに強固にされ、印刷業界発展のために全印工連の事業推進に一層の支援と協力を賜るようお願い申し上げます」と述べた。

続いて、創立80周年記念表彰が行われ、経済産業省北海道経済産業局長表彰状を岡部康彦氏（顧問・元理事長）、板倉清氏（顧問・前理事長）の2氏、北海道知事感謝状を松井丈氏（顧問・前副理事長）、植平有治氏（副理事長）の2氏、全日本印刷工業組合連合会会長表彰状を米澤正喜氏（理事）が受賞した。（受賞者略歴は8頁に掲載）

次に、永年勤続優良従業員表彰が行われ、受賞者7人を代表して井出光俊氏（㈱成瀬印刷・旭川支部）が表彰を受けた。（受賞者氏名は9頁に掲載）



組合創立 80 周年記念表彰



岡部康彦氏

受賞者を代表して、岡部康彦顧問から「身に余る表彰を受け、感激している」と謝辞が述べられた。

つづいて、前田憲之理事から「本文化典ならびに記念事業を契機に、新常态のなかで、希望に満ち、人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業への道を切り拓いて行き、DXを駆使し、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として社会に貢献していくことを宣言する」と、印刷文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。（印刷文化典宣言全文は9頁に掲載）

次に、岸理事長から次回2023年の第33回北海道情報・印刷文化典開催地を「旭川支部」と発表され、記念式典を終了した。

記念講演



石井正信氏

記念講演は、15時45分から、講師に日本銀行札幌支店長の石井正信氏を招き、「北海道経済の現状と展望」をテーマに開催された。

石井講師は、「わが国の金融経済情勢」、「北海道の金融経済情勢」、「今後の展望」について詳しく解説した。

記念パーティ

記念パーティは、18時から、新型コロナウイルス感染防止のため、定員の半分で円卓を着席で使用し、近隣の方とのお酌、テーブル間の移動の自粛を徹底



記念講演会場の模様

して開催された。



西山 真氏

最初に主催者を代表して西山真副理事長が「記念式典・記念講演につづいて、お疲れのところであるが、これからは、美味しい料理とお酒で、楽しいひと時を過ごしていただければと思う。記念パーティが、諸先輩の築かれた苦勞の歴史を振り返りながら、次の世代に歴史をつなぐ、夢を語る場となれば幸いである。北海道印刷工業組合は、今日から、また新しい歴史を重ねていくが、今後も変わらぬ支援・協力をお願いしたい。皆さんには少し窮屈な思いをさせてしまい、誠に申し訳ないが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協力をお願いし、悔いの残らないようにしたいというのが、われわれ主催者の願いである」とあいさつした。



尾池一仁氏

来賓紹介につづき、尾池一仁北海道中小企業団体中央会会長から「貴組合は昭和15年に設立されて以来、北海道の印刷業界の発展と組合員の繁栄に大きく貢献された。これも偏に岸理事長をはじめ歴代の役員・組



記念パーティ会場の模様

会員の皆さんの熱意とたゆまぬ努力の賜であり深く敬意を表す。また全道の印刷業界の皆さんには現在まで北海道中央会の中心的会員として事業の推進に支援・協力をいただいていることをこの場を借りて厚くお礼申し上げる。本道経済は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、これまで経験したことのない社会活動や経済活動の停滞を招いており、我々中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は一段と厳しいものとなっている。このような先が見通せない環境のなか、地域に根差した事業活動を行う中小企業・小規模事業者が持続的に発展していくためには、相互扶助の精神を基本とする、我々中小企業組合の組織が今こそ重要である。私ども中央会では、本年度、新型コロナウイルスの影響対応として相談窓口の体制強化をはじめ専門家派遣等の独自事業を拡充しており、会員の要望に応えるべくさまざまな場面において積極的に取り組んでいくので今後とも協力をお願いしたい」と祝辞が述べられた。



阿部啓二氏

つづいて、阿部啓二北海道中小企業総合支援センター理事長が、「私どもの団体は名前のおり中小企業総合支援センターということで、道内の中小企業の支援をする仕事をさせていただいている。本日、参集の皆さんも日々経営改善の相談、設備の導入支援施策の活用といった面で私どものセンターを利用いただいております。この場を借りお礼申し上げます。昨今デジタル化の進展といったような社会経済活動が大きく変わるなかで印刷業界をはじめいろいろな面で厳しい状況にあると思う。私、今日こちらに来てあいさつするということがで印刷の歴史を少し見て来たら、西暦でいうと7世紀8

世紀くらいに印刷が生まれて、かれこれ1,300年くらい経つ。これまで印刷というものが人類の歴史のなかでいろいろな情報を記録して、それが人類の発展につながって来たのではないかと、そういう意味で非常に大事な業界であると思っている。非常に厳しい状況と申したが、これから情報価値創造産業として新しい業界として、私は、皆さんの努力によってますます発展していくだろうと確信をしている」と述べ、本来であれば声高らかにというところであるが、感染防止対策ということもあるので心のなかで大きな発声をしていただき、実際にはソフトに乾杯ということをお願いをしたいと述べ、乾杯し、開宴した。

祝宴では、甲斐熊五郎氏による歌のステージと、旭川印刷製本工業協同組合の皆さんによるコロナ禍を乗り越えるテーブル対抗ゲーム大会が行われ、会場の雰囲気を一気に盛り上げた。



植平有治氏

祝宴が続くなか、植平有治副理事長が「皆さん、長時間にわたり本当にありがとうございました。こういうコロナ禍でよくここまでやったなと、私も執行部の一員として本当にうれしく思う。こういうかたちがもっと続けば経済も少しは良くなる気がする。旭川支部が3年後、情報・印刷文化典をまた開催する。今年度に負けずに3年後にはもっともっと楽しく、明るく前向きにやりたい。今日は私も主催者の一人として皆さんのところに注ぎにも行けないし、注がれもしないし、何か少し残ってしまう気がする」と述べ、「コロナに負けるな」と、一本で締め、中締めを行い、記念パーティを終了した。



甲斐熊五郎氏による歌のステージ



コロナ禍を乗り越えるテーブル対抗ゲーム大会を支えた旭川印刷製本工業協同組合の皆さん

北海道印刷工業組合創立80周年記念表彰受賞者

経済産業省北海道経済産業局長表彰状



岡部康彦 氏

北陽ビジネスフォーラム株式会社 取締役相談役 75歳 札幌支部
自：平成 8年5月23日～至：平成10年5月21日 北海道印刷工業組合理事
自：平成10年5月22日～至：平成16年5月20日 同上 副理事長・札幌支部長
自：平成16年5月21日～至：平成26年5月15日 同上 理事長
自：平成26年5月16日～至：現在 同上 顧問



板倉 清 氏

株式会社アイテックサプライ 代表取締役社長 69歳 札幌支部
自：平成16年5月21日～至：平成22年5月20日 北海道印刷工業組合理事
自：平成22年5月21日～至：平成26年5月15日 同上 副理事長・札幌支部長
自：平成26年5月16日～至：平成30年5月17日 同上 理事長
自：平成30年5月18日～至：現在 同上 理事・顧問

北海道知事感謝状



松井 丈 氏

株式会社北研社 代表取締役社長 68歳 オホーツク支部
自：昭和63年5月20日～至：平成 2年5月19日 北海道印刷工業組合理事
自：平成14年5月24日～至：平成18年5月18日 同上 理事
自：平成18年5月19日～至：平成20年5月15日 同上 常任理事・北見支部長
自：平成20年5月16日～至：平成22年5月20日 同上 理事・オホーツク支部長（改称）
自：平成22年5月21日～至：平成26年5月15日 同上 副理事長・オホーツク支部長
自：平成26年5月16日～至：令和 2年2月13日 同上 理事・オホーツク支部長
自：令和 2年5月14日～至：令和 2年5月28日 同上 理事
自：令和 2年5月29日～至：現在 同上 顧問



植平有治 氏

植平印刷株式会社 代表取締役社長 70歳 旭川支部
自：平成16年5月20日～至：平成22年5月19日 北海道印刷工業組合理事
自：平成22年5月20日～至：平成30年5月17日 同上 監事
自：平成30年5月18日～至：現在 同上 副理事長・旭川支部長

全日本印刷工業組合連合会会長表彰状



米澤正喜 氏

米沢印刷紙業株式会社 代表取締役社長 59歳 小樽支部
自：平成10年5月21日～至：平成12年5月19日 北海道印刷工業組合理事
自：平成16年5月20日～至：平成20年5月16日 同上 理事
自：平成22年5月20日～至：現在 同上 理事・小樽支部長

印刷文化典宣言

本日、北海道印刷工業組合員ならびに関係者は、先達の遺徳を偲び、伝統と偉業を将来へ引き継ぎ、さらなる発展を期するため、結集した。

中小印刷産業を取り巻く経営環境は、眼前に迫りつつある、深刻化するであろう人手不足、事業承継問題、多様な人材育成のための人件費コストの増加、働き方改革への対応など、課題が山積している状況にある。

加えて、新型コロナウイルスにより、中小印刷産業に限らず、世の中すべての様相が一変してしまった。

このような状況のなか、中小印刷産業は生産性向上を図ることが急務であり、個々の自助努力に加え、組合組織を活用した共助の連携強化が重要となっている。

本文化典ならびに記念事業を契機に、新常态のなかで、希望に満ち、人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業への道を切り拓いて行き、DXを駆使し、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として社会に貢献していくことを宣言する。

令和2年11月6日

第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会
北海道印刷工業組合創立80周年記念事業

永年勤続優良従業員表彰者

《30年以上勤続》

(敬称略)

氏名	会社名	勤続年数	支部
前田 誠	有限会社成瀬印刷	32年 7月	旭川

《20年以上勤続》

氏名	会社名	勤続年数	支部
米田 幸司	有限会社成瀬印刷	26年 8月	旭川
斉藤 裕佳子	有限会社成瀬印刷	20年 2月	旭川

《10年以上勤続》

氏名	会社名	勤続年数	支部
影沼 知美	有限会社成瀬印刷	17年 4月	旭川
鈴木 泰紀	有限会社成瀬印刷	11年 2月	旭川
鈴木 正一	有限会社成瀬印刷	11年 1月	旭川
井出 光俊	有限会社成瀬印刷	10年 4月	旭川

「令和3年新春経営者研修会」開催のご案内

北海道印刷工業組合は、「令和3年新春経営者研修会」を開催する。

道 内中小印刷産業を取り巻く経営環境は、眼前に迫りつつある、深刻化するであろう人手不足、事業承継問題、多様な人材育成のための人件費コストの増加、働き方改革への対応など、課題が山積している状況にあり、加えて、新型コロナウイルスにより、中小印刷産業に限らず、世の中すべての様相が一変してしまった。

このような状況下ではあるが、印刷工業組合員は、有益な印刷製品・サービスの提供に努め、国民生活および文化を支え、人々の暮らしを彩り幸せを創る産業として発展していかなければならない。

そのため、その活路を見出すため、講師に全日本印刷工業組合連合会会長の滝澤光正氏を招き、「令和3年新春経営者研修会」を下記により開催する。

本研修会では、滝澤会長より全印工連の活動方針・実施事業などについてご講演いただき、勝ち残りのための方策・指針等を見出す示唆をいただく。

なお、本研修会は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮のうえ、会場またはオンライン参加のどちらでも参加できる形式で開催する。

記

日 時	令和3年1月8日(金) 14:45~16:15
会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
テ ー マ	印刷産業の未来を拓く
講 師	全日本印刷工業組合連合会 会長 滝澤光正氏
参 加 費	無 料
定 員	会場：40人／オンライン：100人（いずれも定員になり次第締め切ります）
申込期日	令和2年12月28日(月)

北海道印刷関連業協議会 令和3年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和3年新年交礼会が下記により開催される。

令 和3年新年交礼会は、新北海道スタイルを遵守し、新型コロナウイルス感染症拡大防止ならびに参会者および関係者様の健康・安全に細心の注意を払い運営される。

今回の交礼会は、円卓着席（席指定）で会食が行われる。

参会者には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーブル間を移動しての挨拶等は、自粛いただくことを原則としている。

参加申込みは、12月10日まで、各所属団体または北海道印刷工業組合で受付けている。

記

日 時	令和3年1月8日(金) 午後5時
会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会 費	10,000円

第32回 北海道情報・印刷文化典札幌大会

北海道印刷工業組合創立80周年記念事業



経済産業省北海道経済産業局長表彰状を受けた岡部康彦氏(右)・板倉清氏(左)



北海道知事感謝状を受けた松井丈氏(左)・植平有治氏(右)



全日本印刷工業組合連合会会長表彰状を受けた米澤正喜氏



永年勤続優良従業員表彰を受けた井出光俊氏



コロナ禍を乗り越えるテーブル対抗ゲーム大会を盛り上げた利根川嘉子さん



コロナ禍を乗り越えるテーブル対抗ゲーム大会で賞品を届ける山田遵氏



「3年後は旭川で会いましょう」と呼びかける旭川支部の皆さん



皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。